

MCR 講座「読書講座」

1 目的

- ・ 子どもの発達期における読書の効能を理解することで、自らの子育てや家庭教育力の向上のための良い機会とする。
- ・ MCR 学級生の学びの場を広げる一助とする。

2 日時・会場・参加人数

日時：令和7年11月13日(木)10:00～12:00

会場：松戸市民会館 301会議室

参加人数：24名(MCR 学級生、小学校家庭教育学級生) 一時預かり 1名

3 内容

○主催者挨拶

○講演

舞台「子どもと読書～読む力は生きる力～」

講師 松戸市立図書館司書 村上 さつき氏

○質疑応答

4 概要

図書館司書として松戸市立図書館に勤務されている、村上さつき氏を講師としてお迎えし、今の子どもの読書の現状や読書がもたらす力、更には家庭でできることなどについてお話をいただきました。調査結果や統計を提示していただいたことで、より詳しく知ることができました。

「なぜ、本を読まないのか？」ではなく、「本を読みたい時はどんな時か？」と逆転の発想から、読書のできる子を育てる方法を教えていただきました。

最後には、「読書の効果」として、絵本やマンガを否定するのではなく、それぞれの役割を理解することや「読むこと」は、言語能力とコミュニケーション能力の向上は勿論、生涯の支えになる言葉や知る楽しさに出会えることでもあるとお話されていました。

また、「デジタル」の特徴についても触れていただきました。講演途中には、絵本「にげてにげて」を朗読していただき、学級生の皆さんのが聞き入っている姿がありました。本は、大事なことを親が伝える代わりに、伝えてくれるものだとつくづく感じました。

最後に、「あなたはお子さんの前で読書をしていますか」と問われた学級生の皆さんの表情が印象的でした。

講演後には、「本好きになるためのヒント」を得ることができた学級生も多くいたと思います。それほど、内容の濃い、充実した講演となりました。

5 参加者の主な感想

・子どもと一緒に本を読む時間が最近とれていなかったので、今夜から一緒に読もうと思いました。大人の読書時間を何とか確保したいです。

・本を読むことが単純に読解力を上げるだけではない事に気付いた。読んでみたいと思う絵本でも漫画でも子どもたちと一緒に読んで、楽しい時間を作つたら良いと思いました。

・「つまらなかつたら途中でやめてもいい」という考えがなかつたので、とても勉強になりました。

・統計から読書の状況について分かりやすく話があり、より納得感がありました。本を読むことの大切さから読めるように家でできることなど、とても学びの多い時間でした。

